

# スポーツ産業の活性化によるローカルアベノミクスの実現

平成28年11月2日

ス ポ ー ツ 庁  
経 済 産 業 省

# スポーツ産業の活性化によるローカルアベノミクスの実現

「新たな収益を生むスポーツ施設整備」×「スポーツ経営人材創出」×「他産業との融合」の相乗効果により、スポーツ施設を核とした交流拠点の創出、地域経済活性化を促進。

産業基盤としての

## 1. スタジアム・アリーナ改革

～コストセンターからプロフィットセンターへ～

(公共施設) (官民連携施設)

- スポーツ施設はスポーツ産業のインフラ
- まちづくりと一体的な多機能・複合型施設
- スポーツ産業振興への新たな突破口

● 全国で整備に向けた気運(30以上の計画)

● 広島・今治(サッカー)、沖縄(バスケットボール)等  
● スタジアム・アリーナ改革指針に基づき官民連携体制で収益性の高い施設整備を推進

● wi-fi環境や多様な客席での快適な楽しみ方の提供

### 【政府の取組】

スタジアム・アリーナ推進官民連携協議会・

ガイドライン策定ワーキンググループの立ち上げ

⇒スタジアム・アリーナ改革指針の策定



民間の力を活用した吹田スタジアム

## 2. スポーツ経営人材の創出

～体育からスポーツへ～

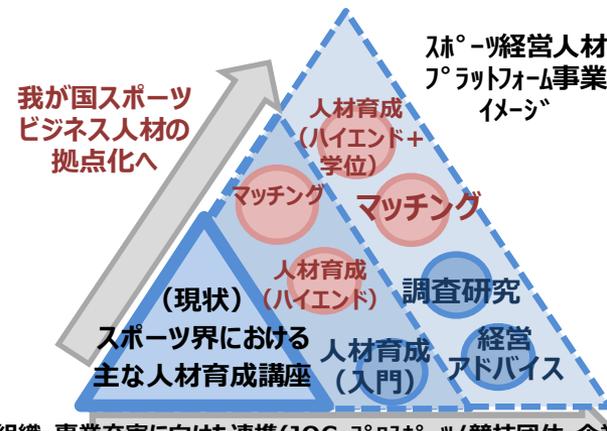
- スポーツの発展にはスポーツ経営人材が重要なリソース
- スポーツビジネス推進に向けた組織のマイトリフェンディング
- 「育成」と「外部からの流入促進」を両輪で実施

● 野球(含独立リーグ)・サッカー・バスケットで計125チーム  
● 775大学のスポーツ資源も地域活性化の担い手  
● 戦術データ活用、顧客、マーケティング等IT化戦略

### 【政府の取組】

スポーツ経営人材プラットフォーム協議会の立ち上げ

⇒我が国スポーツビジネス人材の拠点化に向けたプラットフォームの構築



組織・事業充実にに向けた連携(JOC・プロスポーツ/競技団体・企業等)

## 3. IT・観光など他産業との融合

～スポーツ産業のエコシステムの構築～

- スポーツは高い経済波及性を有するコンテンツ
- 他分野との融合による新事業・市場の創造
- スポーツ参加人口の拡大にも寄与

### 【参考事例①】

- 海外有力選手獲得による地域・経済活性化への取組(サッカー)
- 水戸ホーリーホックのベトナムスター選手獲得
- いばらきベトナム交流大使に任命(2016.3)
- ベトナム航空が水戸ホーリーホックのスポンサーに(2016.5)

いばらきベトナム交流大使に任命されたグエン・コンフォン選手(右)



### 【参考事例②】

- スポーツと他分野の融合(IT)
- ソニーによる最新デジタル技術を活用した新たな観戦スタイル
- 選手の成績をリアルタイムで確認しながら楽しめる環境を想定
- データ分析によるスポーツの見える化

透過式メガネ型端末  
SmartEyeglass Developer Edition SED-E1 (ソニー)

